

No.2402 金剛山 妙見谷～山頂～久留野峠

平成 26 年 2 月 23 日 (日) 晴れ

参加者：佐々木(L) 中橋 岡本 右田 (記)



大阪の北端、豊能の地に家を構えてから、久しく金剛山へ登っていない。昔、ダイトレ 100 km 縦走などで登って以来、30 年ほどご無沙汰かも？

今年は結構積雪があると聞き、一般ルート以外で登るということに引かれて、朝 5 時起きにはなるが、出かけることにした。

2 時間ほどかけて南海河内長野駅に 8 時過ぎに到着。駅で佐々木さんと中橋さんの出迎えを受ける。8 時 15 分発の南海バスに乗り込むが、結構混んでいる。ロープウェイの手前のバス停で降りて、車道をしばらく歩くと妙見谷の取り付きに到着。

少し早いですが、気温が低いので凍結を考えここで軽アイゼンを装着して、9 時 5 分妙見谷登山口から金剛山頂を目指す。先行があるようでトレースが着いている。

細い沢沿いを 30 分ほど行くと目の前に落差 15m の妙見の滝が現れる。滝の右側の岩場を登り、さらに上流を目指す。段々と V 字となり、ルート選択が必要となるがさほど難しいところもなく歩ける。やがて沢の流れる音が消え、尾根が近づいたことを感じる。



11 時頃に一般道に合流。売店のところまで行くと大勢の登山者にびっくり。身近なところで雪を楽しめるとあって人気が高いのだろう。展望のある広場まで行って、岡本さんが最近太ったという雪だるまをぱちり。子供がモデルになってくれました。昼食まで時間があるので葛木神社を巡りながら、岡本さんから雪の重みで桜やブナの枝が折れていることを聞く。例年になく積雪なのだろう。展望台を過ぎ、先の広場に行くがどこも人だらけ。あきらめて、適当なところで昼食を取る。麦茶や梅ドリンク等をいただきました。

12 時 50 分に下山開始。岡本さんは近道で下りたがっているが、ここは当初計画どおり久留野峠を

目指す。人も少なく、快調に歩く。13 時 26 分峠に到着。ここからは、下るだけ。雪道なので足への負担もなくさらに快調に歩く。ロープウェイ前の車道で雪がなくなったので、装備をはずし、バス停へ。

14 時過ぎのバスで河内長野駅に戻り、駅前の居酒屋で早々と 4 人で反省会。天野酒がうま過ぎて少々飲みすぎ。下山は早かったのですが、遅い帰宅となりました。

久しぶりの金剛山でしたが、良い山行ができました。やっぱり雪山は楽しいですね。皆さんありがとうございました。